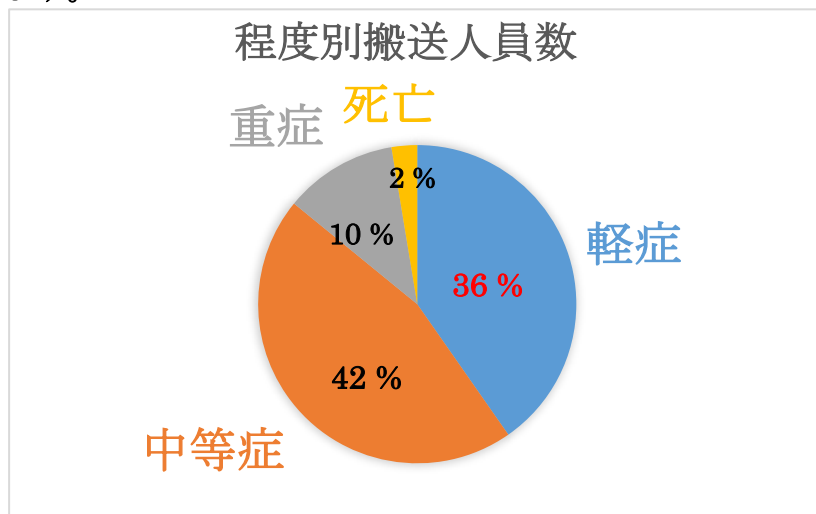


救急車適正利用のお願い

峡南消防本部管内の令和7年中の救急出場件数は2,682件、搬送人員は2,431人でした。

過去最高だった令和6年との比較では、救急出場件数が76件減少、搬送人員も59人減少しておりますがいずれもわずかな減少となっております。

また、令和7年中は一日あたり8件の救急出場があり、一見少ないように感じますが、峡南消防本部管内は面積が広く元々救急出場から帰署までの時間が他の消防本部に比べ時間を要していることに加え、管内医療機関の状況等から管轄外への医療機関への搬送が全体の半数を占めており、1件当たりの救急出場時間が長くなり救急車が消防署を留守にする状況が頻繁に起こっております。



近年、単なる酒酔いや切り傷、捻挫程度のけが等、緊急性がないのに救急車を要請されるケースが増えており、救急搬送した傷病者のうち入院の必要がない軽症者の割合が約40%にも上ります。出場要請が重なった場合には管轄外の消防署から駆け付けることになり、現場に到着するまで時間を要し、本当に緊急性のある傷病者への対応が遅れてしまい救える命が救えなくなるおそれがあります。

(注) 緊急性がなく自分で病院に行ける場合は自家用車やタクシーなど救急車以外の交通機関などを利用して受診してください、

町民の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

(注) 傷病者の様子や事故状況をみて緊急を要すると判断した場合は、迷わずに119番通報をしてください。

判断に迷う場合は、#7119（救急電話相談窓口）に相談するか、救急車の利用マニュアル、全国版救急受診アプリ Q 助をご利用ください。

尊い命を救うため救急車の適正利用をお願いいたします。

「#7119（救急電話相談窓口）」救急安心センターやまなし

急な病気やけがで迷った時の為に、山梨県では2023年（令和5年）10月2日から#7119（救急電話相談窓口）が開設されました。24時間365日対応です。

救急安心センター [#7119（救急電話相談窓口）](#)

（注）医療機関を紹介するものではありません。

（注）緊急・重症の時は迷わず119番通報してください。

「救急車利用マニュアル」

限りある救急車や救急医療を安心して利用していただくために総務省消防庁より救急車利用マニュアル及び全国版救急受診アプリQ助が作成されました。

「救急車利用マニュアル」には

重大な病気やけがの症状（大人・こども）

（注）緊急度が高いことが予測され、すぐに救急車を呼んでほしい症状

救急車を呼ぶ時の注意点

救急車が来るまでに用意しておく便利なもの

救急車が来たときに伝えることなどが載っています。

救急車利用マニュアル [救急車利用マニュアル](#)、総務省消防庁

「全国版救急受診アプリ Q助」には

住民の緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供する為作成されました。

急な病気やけがをしたとき該当する症状を画面上で選択していくと緊急度に応じた必要な対応が表示されます。その後、医療機関検索（厚労省の医療情報ネット）や受診手段の検索を行うことが出来るようになっていきます。

（注）iOS8以上のiPhone 端末、Android4.4以上のスマートフォン・タブレット端末

（注）通信料はご利用者の負担となります

Q 助案内サイト [全国版救急受診ガイド「Q 助」](#) 総務省消防庁

「救急時のワンポイントアドバイス」

峡南消防本部ホームページ内にも救急時のワンポイントアドバイスが掲載されています。

（注）救急車要請時の参考にしてください。

（注）傷病者の様子や事故状況をみて**緊急を要する場合には迷わず119番通報**して下さい。

お問い合わせ

峡南消防本部消防課

代表055-267-8119